

平成24年度 群馬大学地域貢献事業

東日本大震災群馬県内避難者
アンケート調査報告

平成24年12月7日(金)

群馬大学社会情報学部
准教授 西村 淑子

◆ はじめに

東日本大震災による避難者数

平成23年3月11日に発生した東日本大震災とこれに伴う電力福島第一原子力発電所の事故により、岩手県、宮城県、福島県等被災地の住民約47万人が避難。

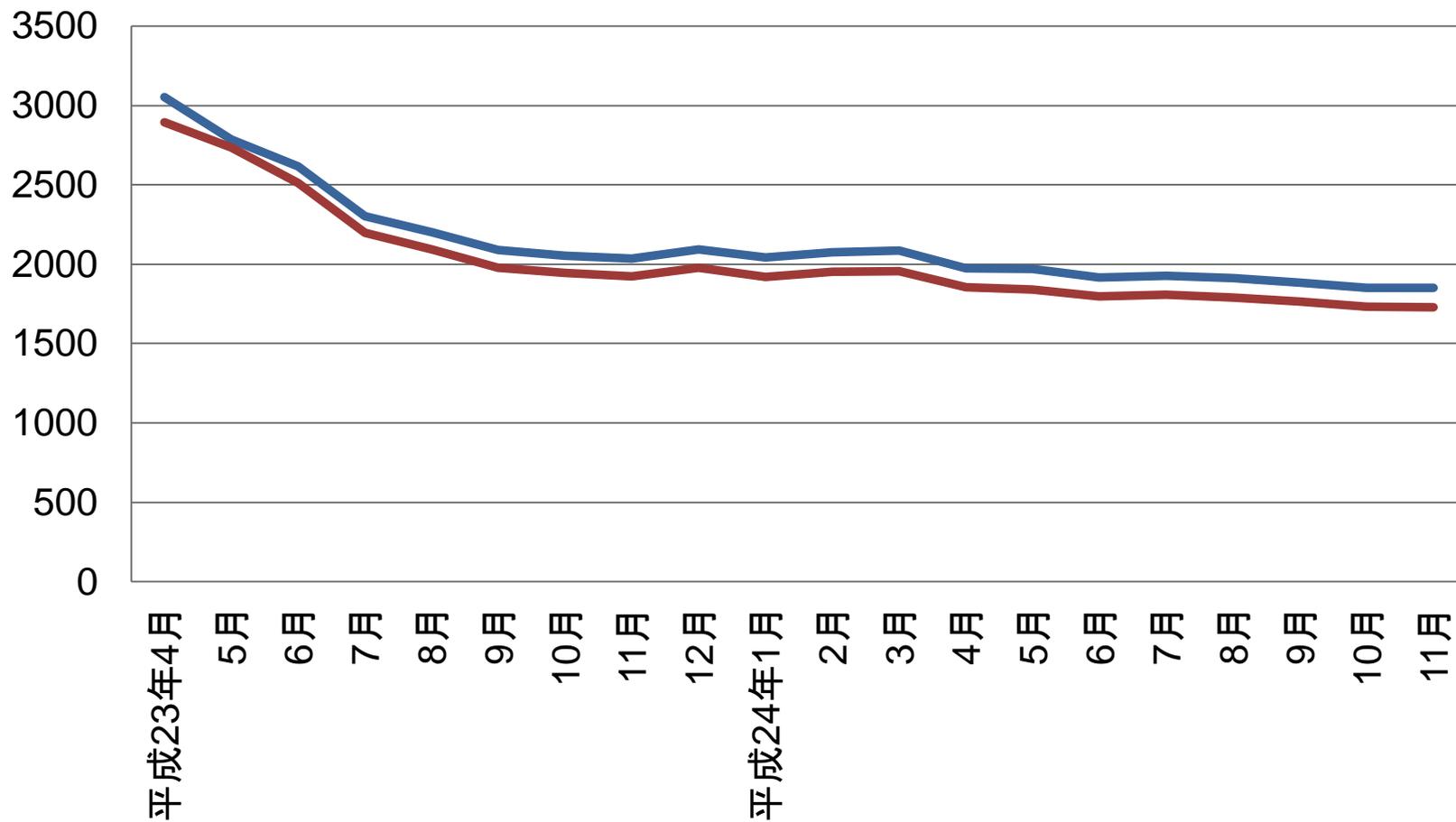
平成24年11月1日現在、約32万5000人が、全国47都道府県で避難生活をしている。

都道府県別の避難者数は、多い順に以下の通り。

宮城県(11万3,717人)、福島県(9万9,139人)、岩手県(4万1,695人)、山形県(1万1,121人)、東京都(9,227人)、新潟県(6,253人)、茨城県(5,859人)、埼玉県(4,223人)、千葉県(3,914人)、北海道(2,985人)、栃木県(2,940人)、神奈川県(2,879人)、群馬県(1,850人)、その他

県外から群馬県への避難者数の推移

— 全避難者数 — 福島県からの避難者数



◆本調査の概要

- 調査目的

東日本大震災とこれに伴う東京電力福島第一発電所事故により、現在、群馬県内で避難生活をしている方について、避難生活の状況、お困りのことなどを把握し、支援のあり方を検証するため。

- 調査実施体制

本調査の企画立案は、西村淑子(群馬大学社会情報学部准教授)が行った。調査方法の検討及び調査結果の分析等については、森谷健(群馬大学社会情報学部教授)と西村が協議して行った。調査結果のデータ入力、株式会社群馬電子計算センターに委託した。

- 調査方法

アンケート用紙の配布は、避難者を受入れている群馬県内の各市町村に依頼し、各市町村から各避難者世帯へ送付して頂くことにより行った。アンケート用紙の回収は、アンケート回答者に、アンケート用紙を返信用封筒に入れて返送して頂くことにより行った。

- 調査対象者

東日本大震災により、群馬県内に避難している約680世帯の世帯主。ただし、世帯主が同居していない場合は、同居している家族の代表者。

- 調査期間

平成24年8月1日～25日

◆本調査の概要

● 調査項目

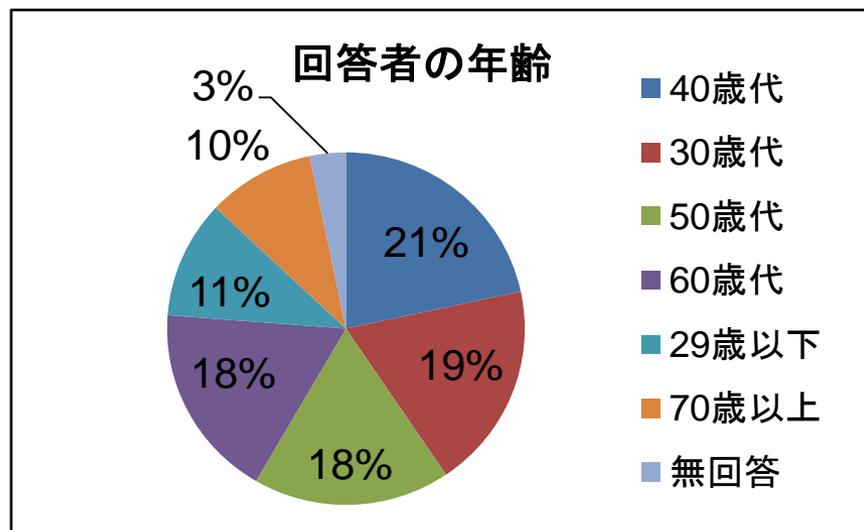
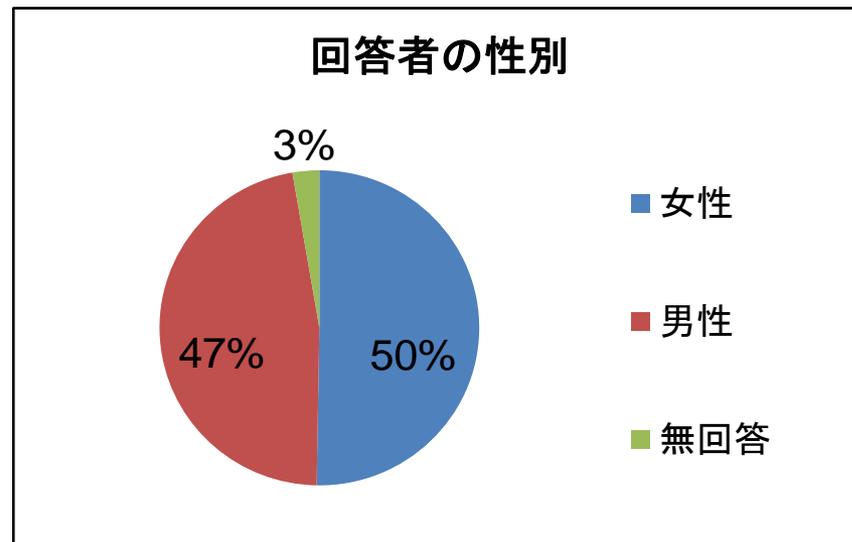
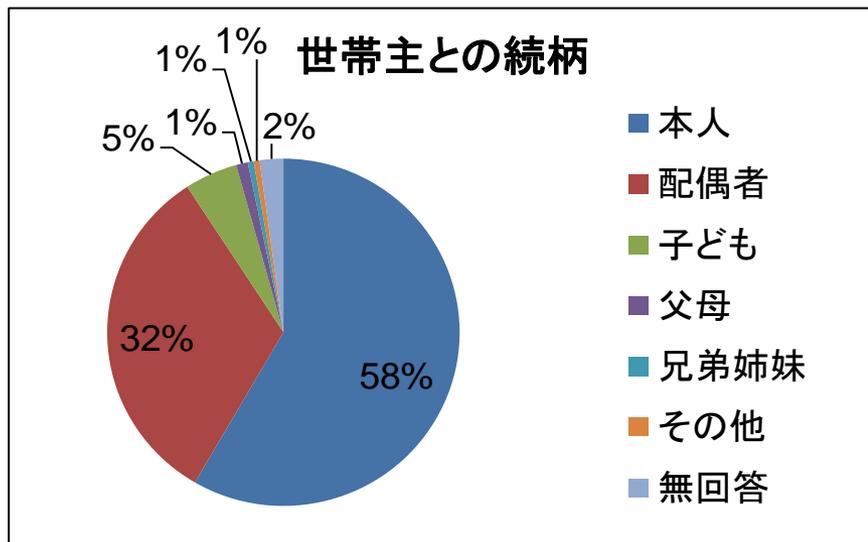
1. 回答者ご自身について
2. 現在の居住状況について
3. 震災時の居住状況について
4. お仕事について
5. 子育てについて
6. ご家族の健康について
7. 家計について
8. 原子力損害賠償について
9. 今後の生活について
10. 必要な支援について
11. その他(自由記載)

● 回収数

185件(回収率27%)

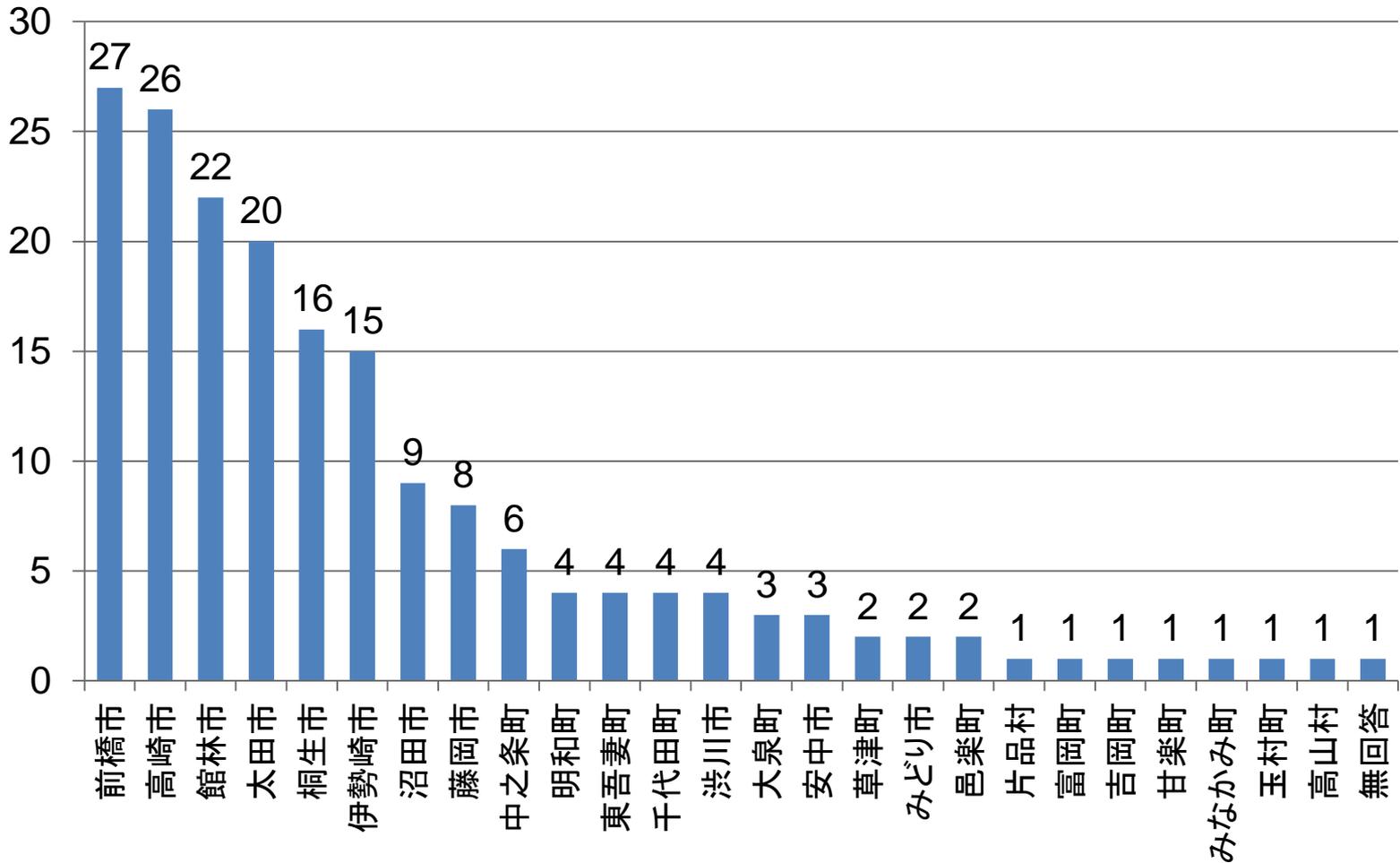
◆ 調査結果の要旨

回答者ご自身について



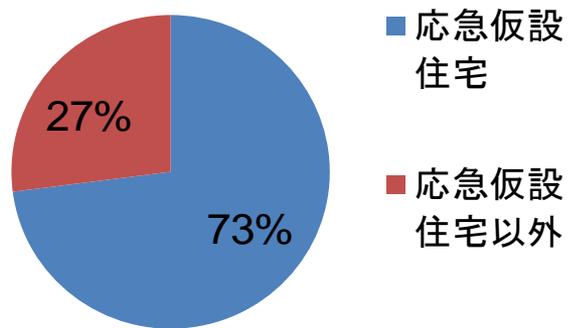
現在の居住状況について

避難先市町村別回答数

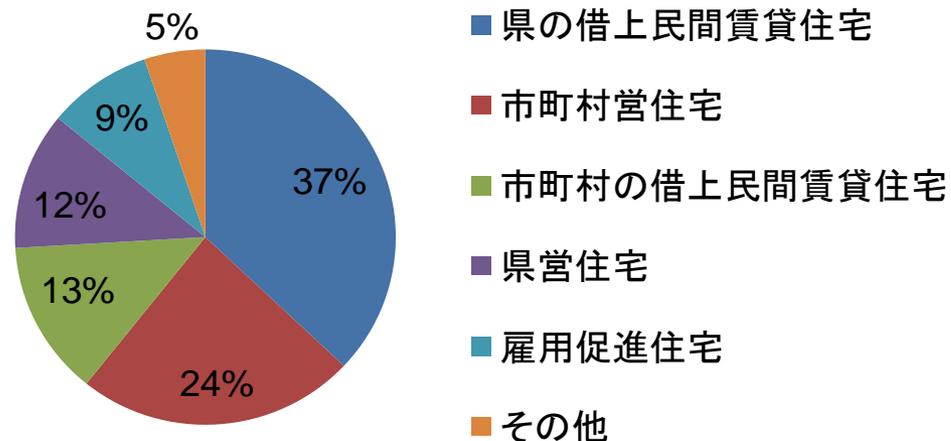


現在の居住状況について

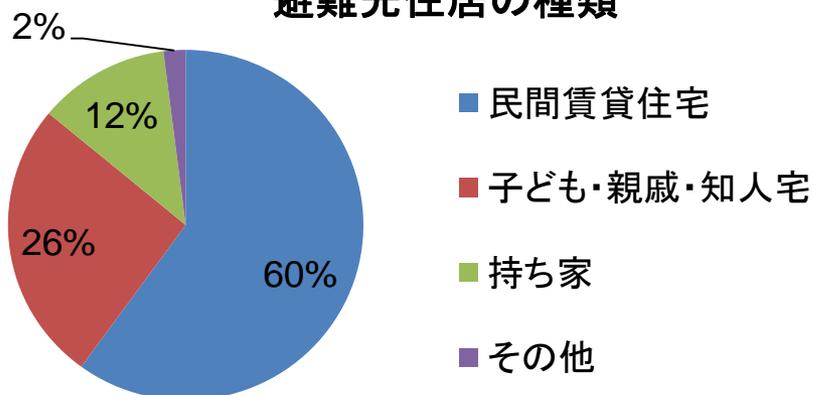
避難先住居の種類



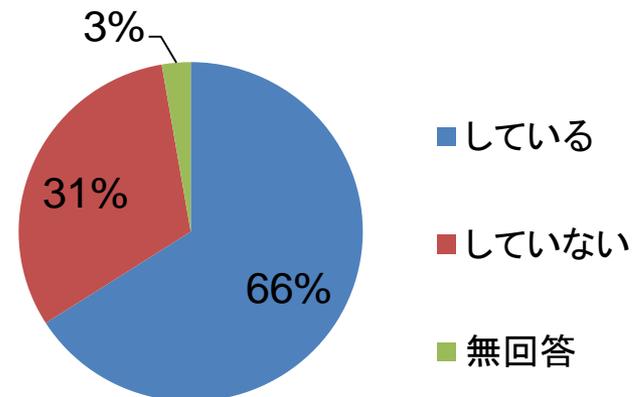
応急仮設住宅の種類



応急仮設住宅以外の避難先住居の種類

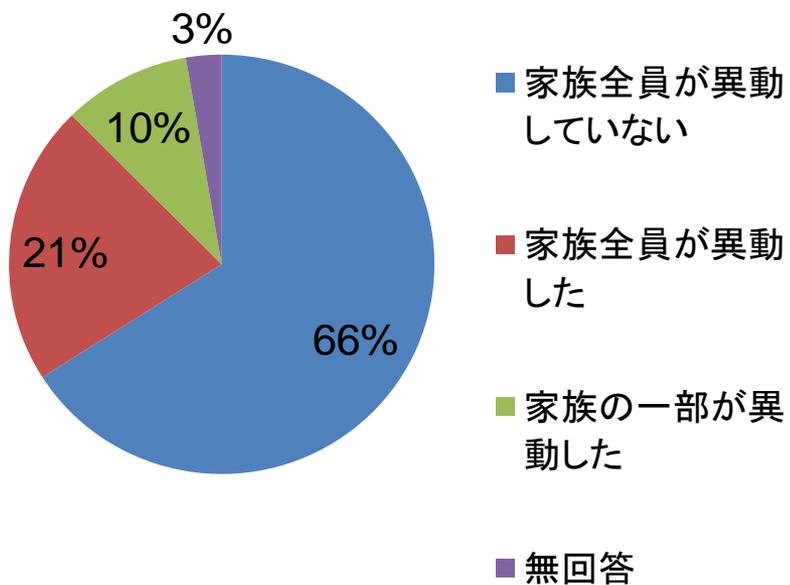


世帯主との同居

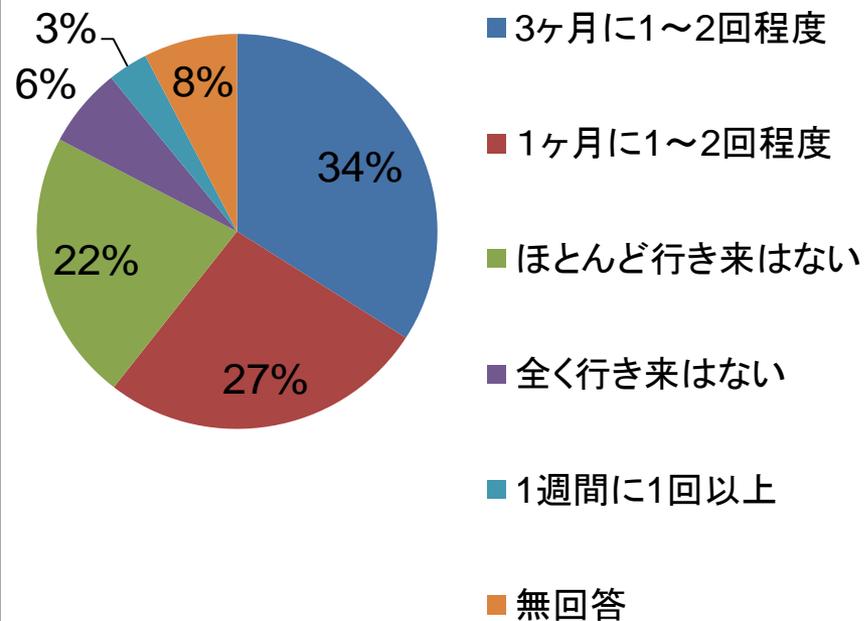


現在の居住状況について

住民票の異動

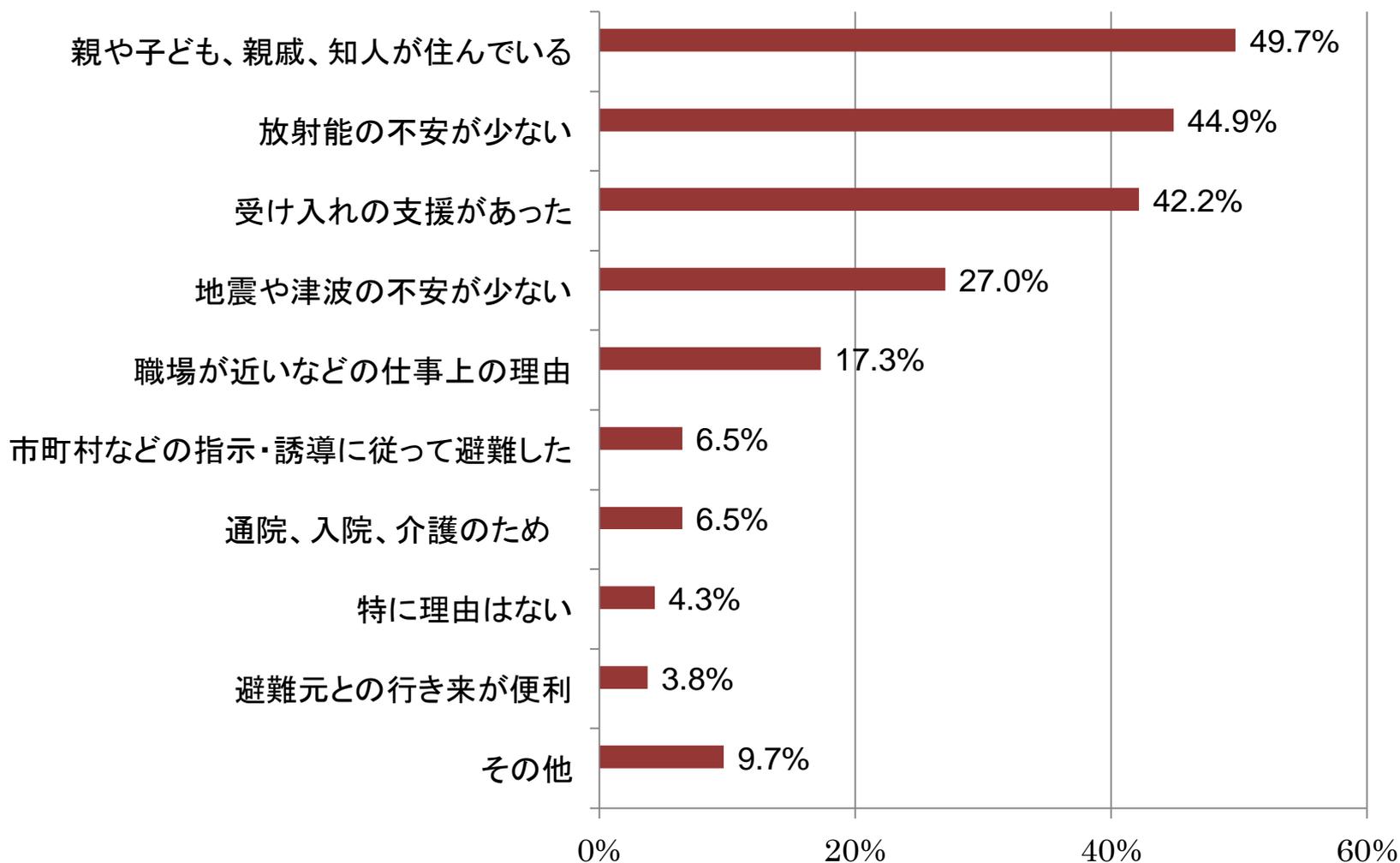


避難元との往来の頻度



現在の居住状況について

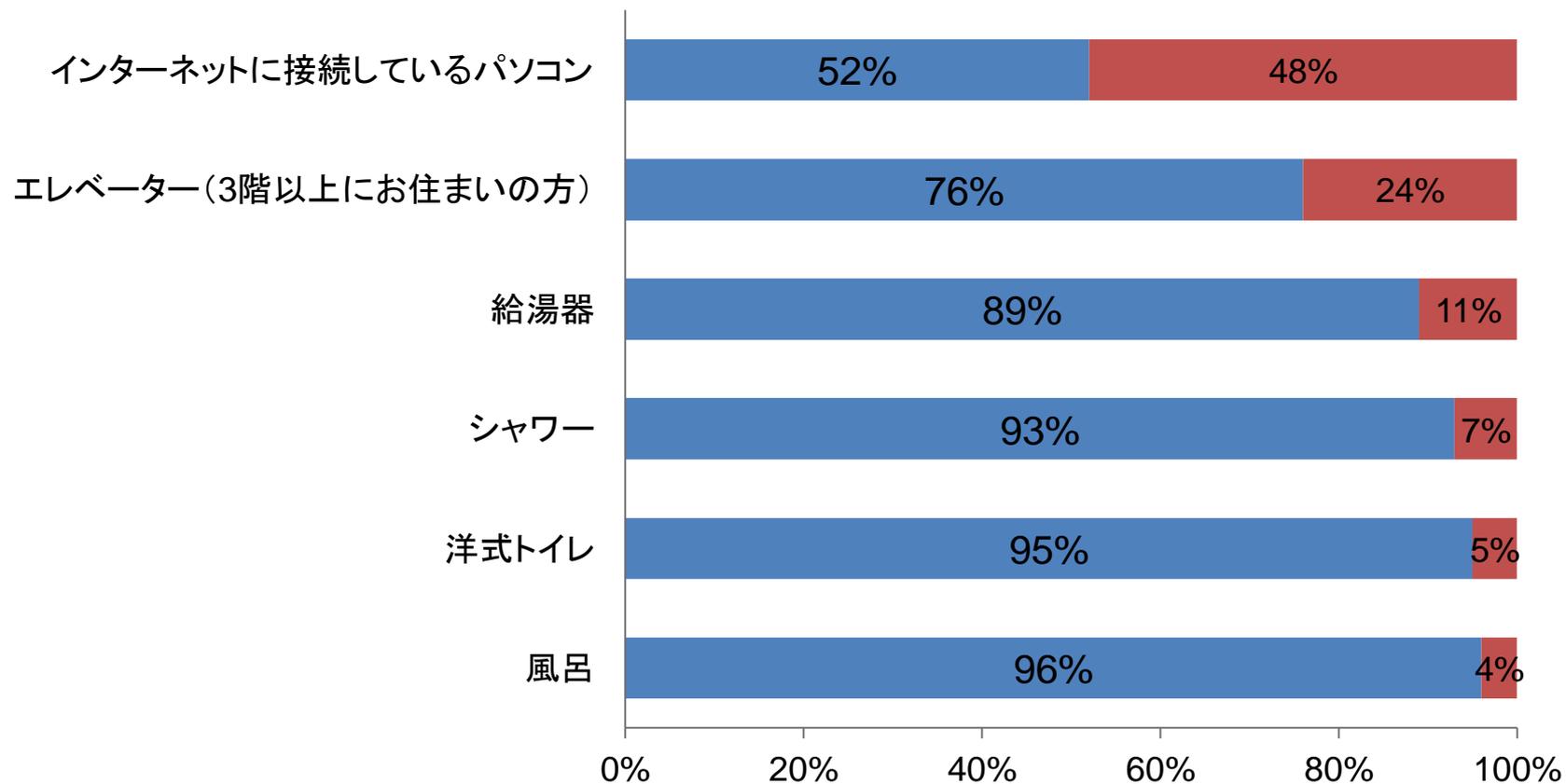
群馬県で生活する理由(複数回答)



現在の居住状況について

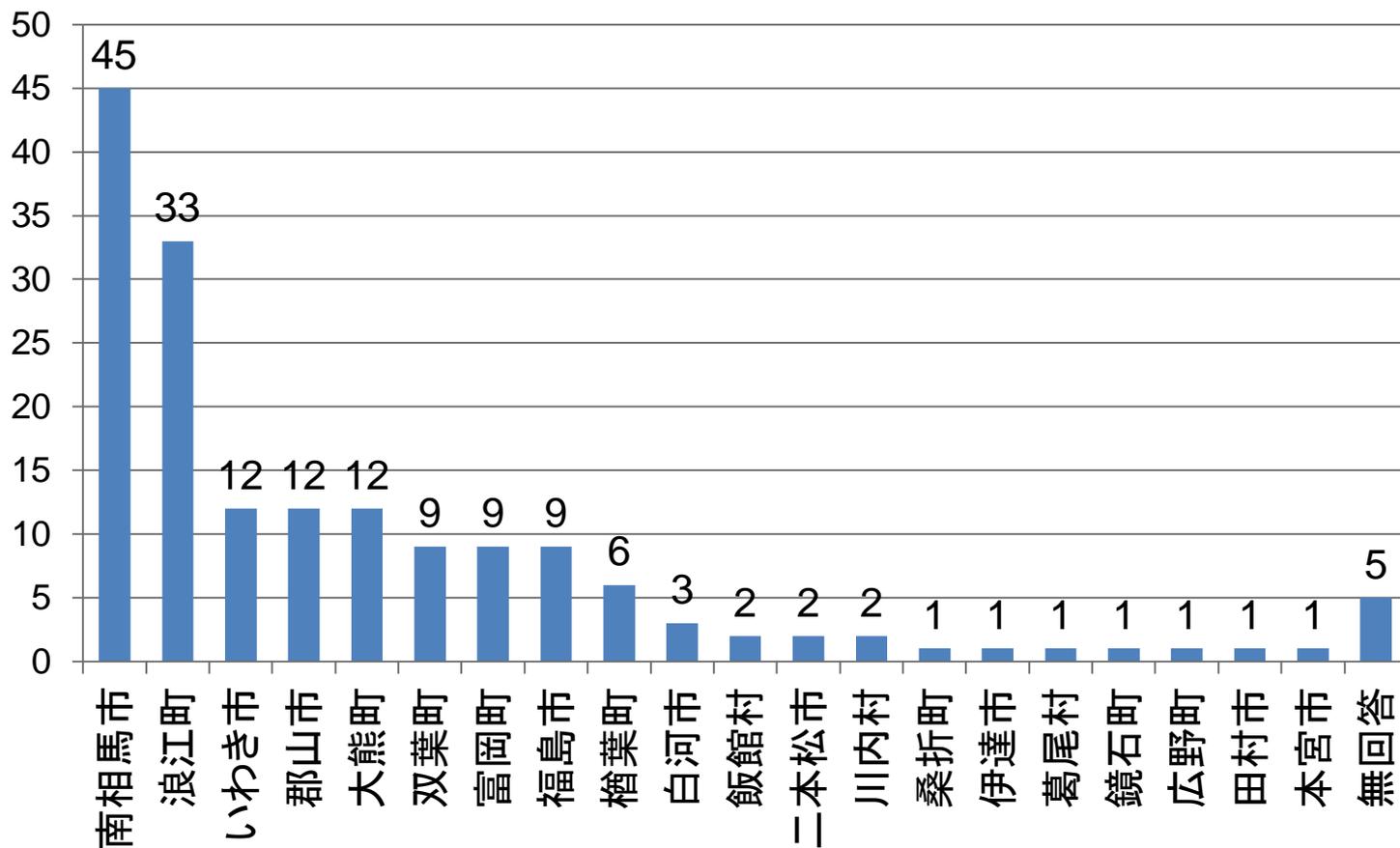
情報通信・居住環境（複数回答）

■ 設置されている ■ 設置されていない



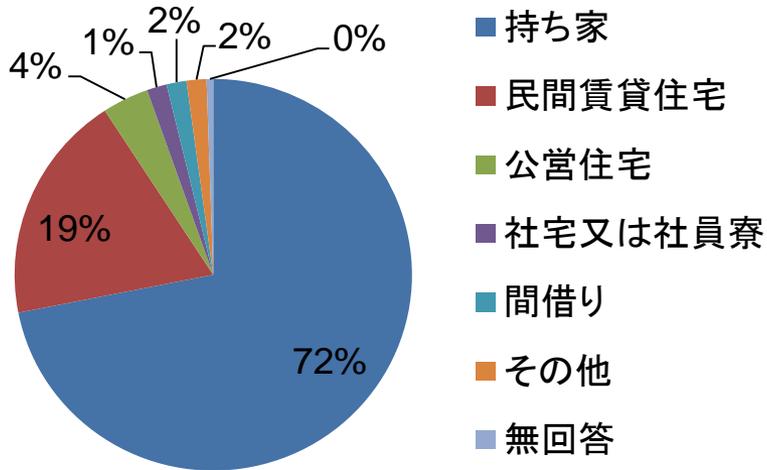
震災時の居住状況について

震災時の住所（福島県内 市町村別 回答数）

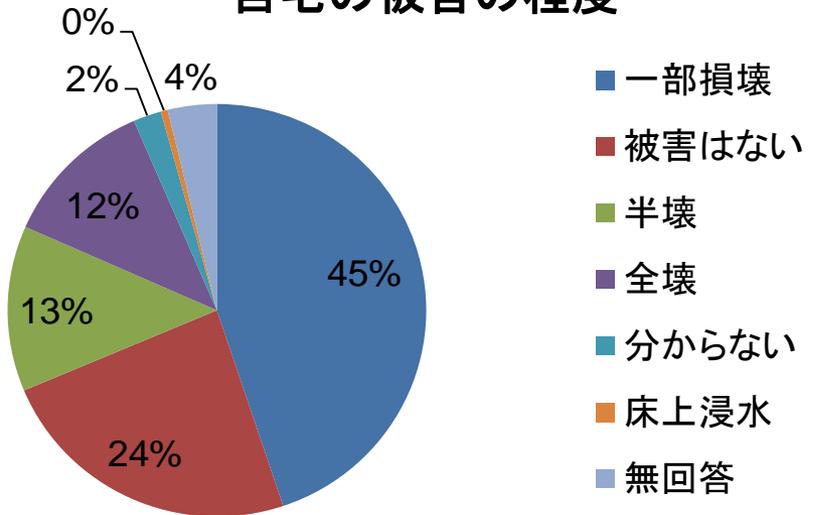


震災時の居住状況について

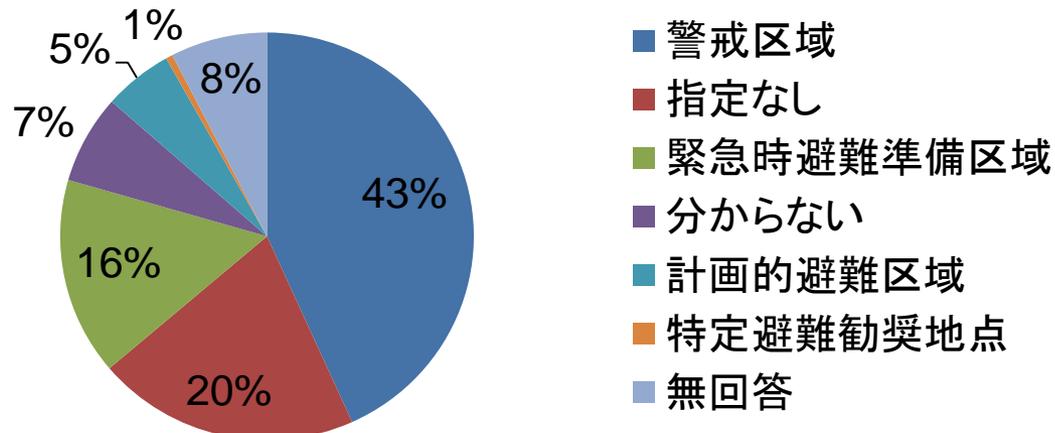
震災時の住居



自宅の被害の程度

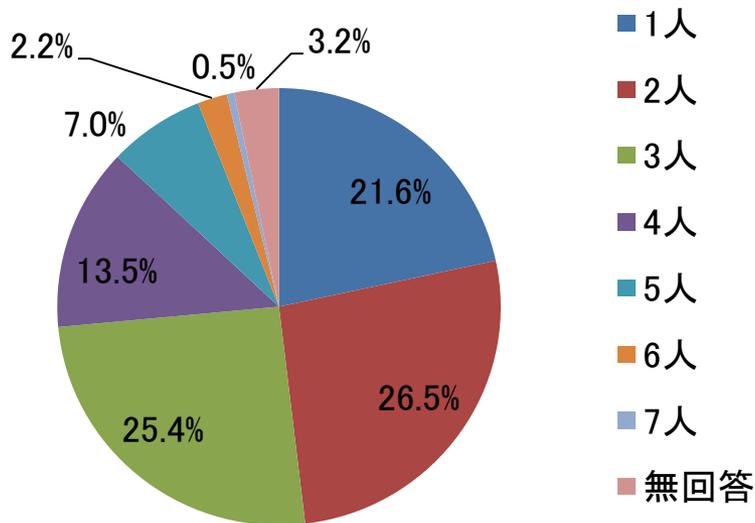


避難等区域の指定の有無・区分

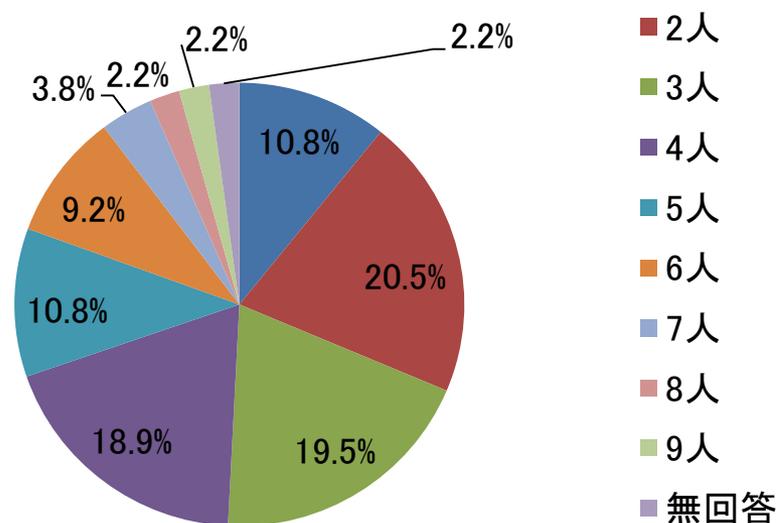


同居家族の構成（現在と震災時の比較）

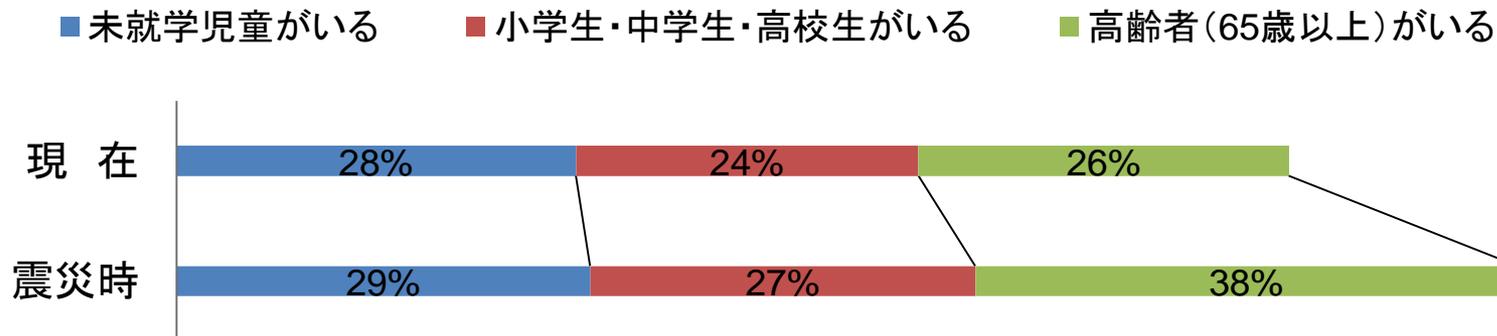
同居家族の人数（現在）



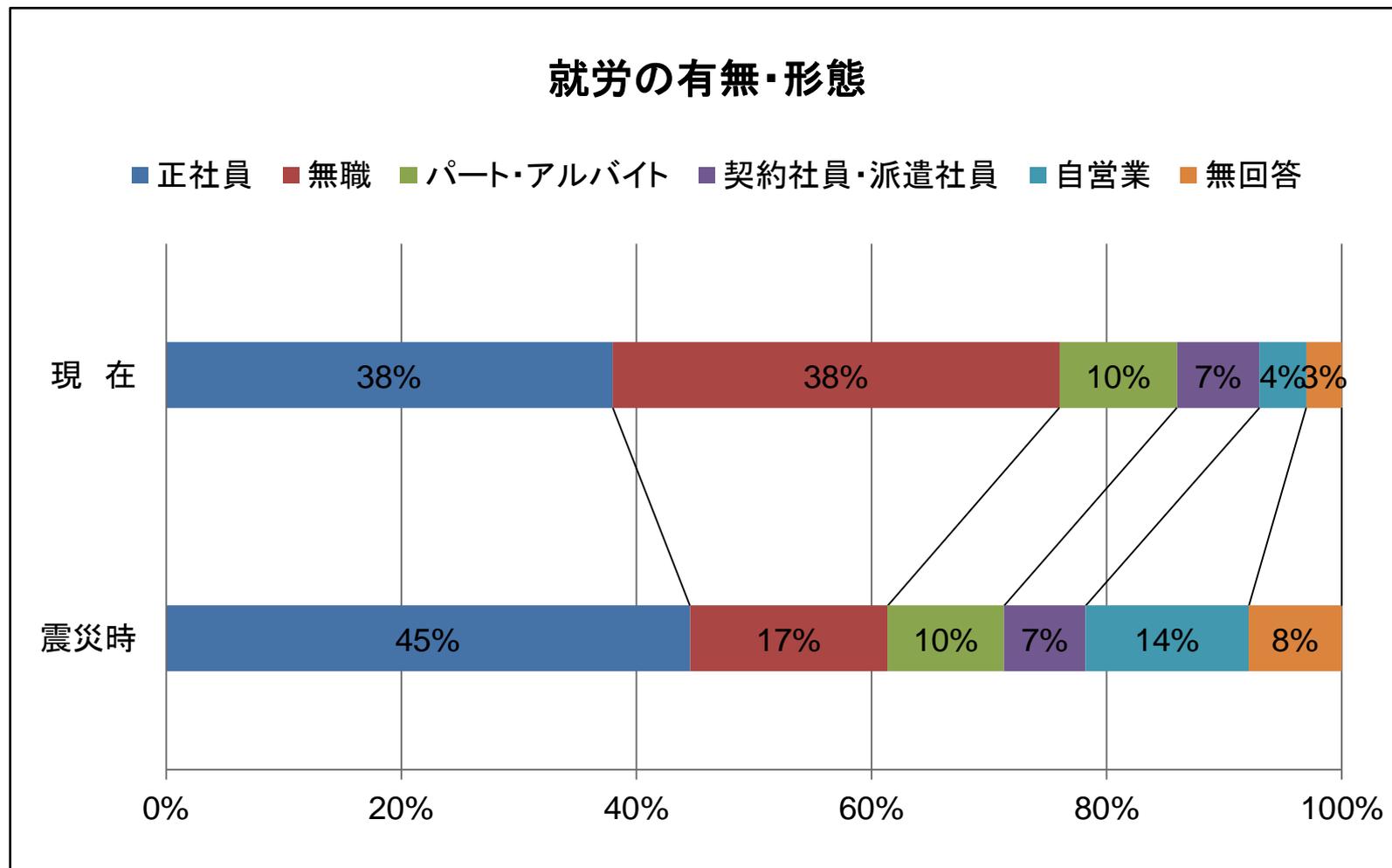
同居家族の人数（震災時）



同居家族の構成（複数回答）



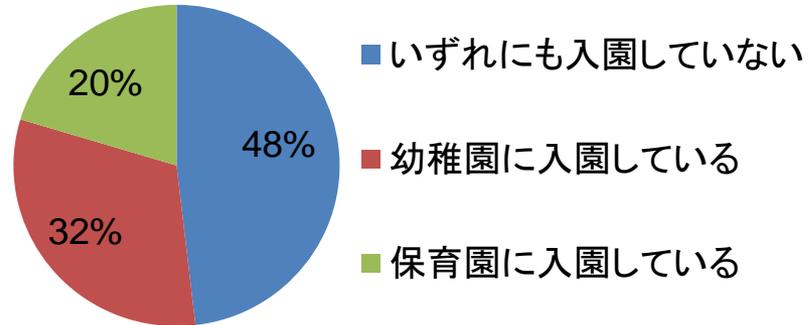
お仕事について(現在と震災時の比較)



子育てについて

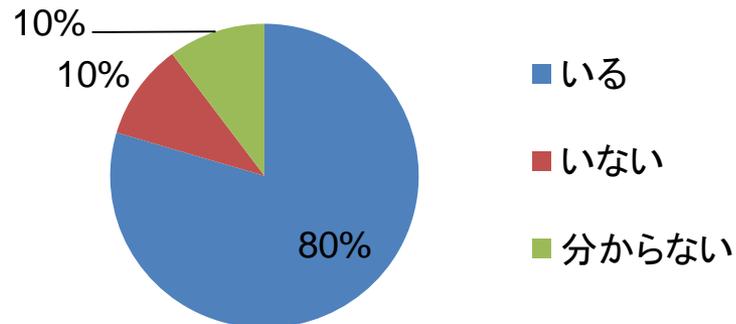
未就学児童のいるご家族への質問

お子さんは保育園又は幼稚園に入園していますか



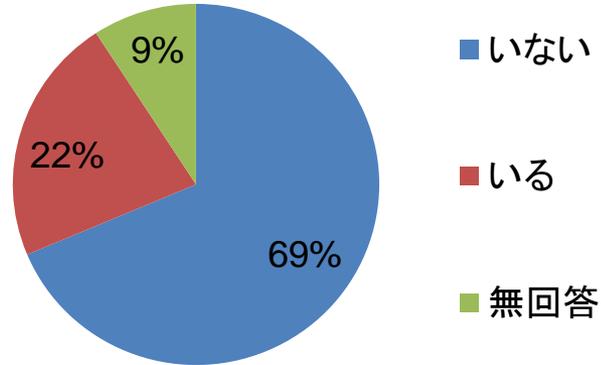
小学生以上18歳未満のお子さんのいるご家族への質問

お子さんには、避難先の学校や地域に
仲の良いお友達はいますか

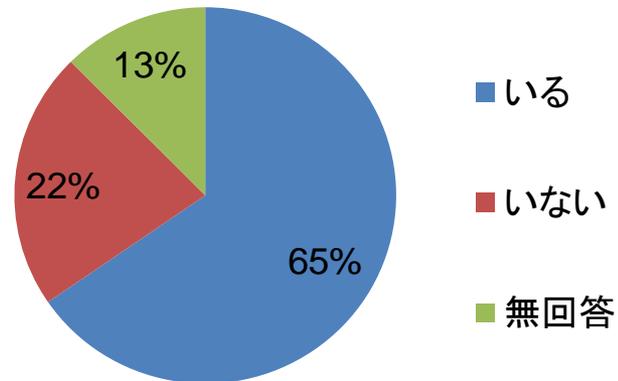


ご家族の健康について

現在、ご家族のなかに、健康上の特別な配慮や生活上の支援を必要とする方はいますか

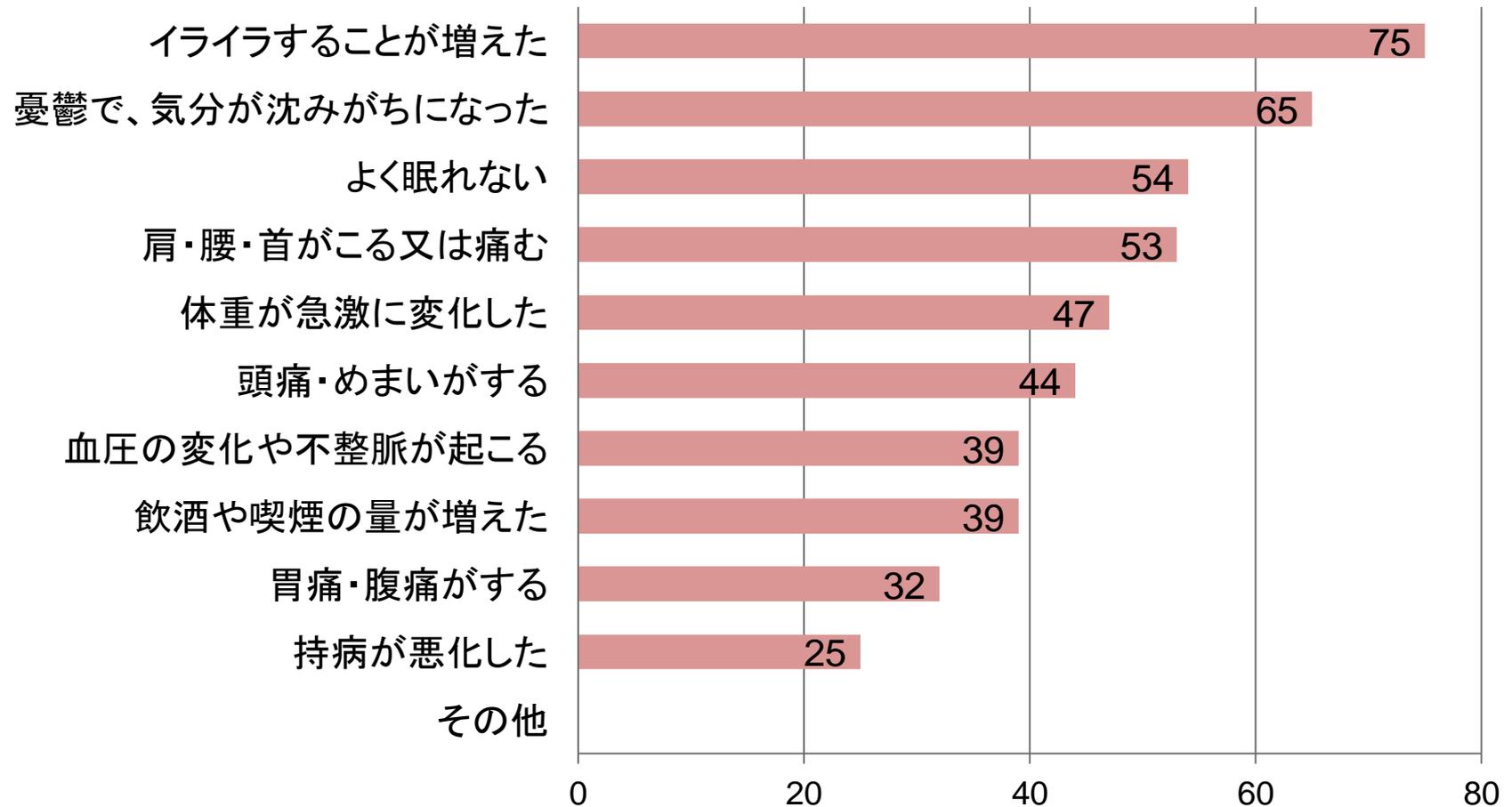


ご家族のなかに、震災後に身体や心に不調を訴える方は、いますか



ご家族の健康について

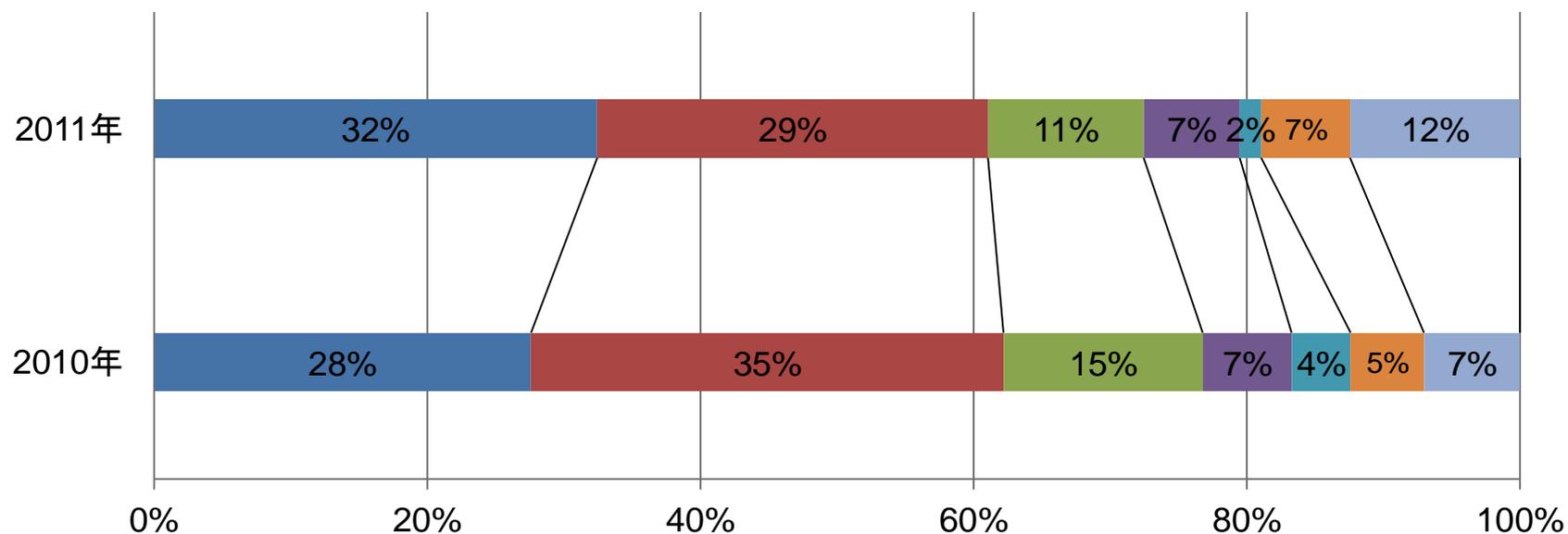
どのような不調ですか(複数回答による回答数)



家計について(2010年と2011年の比較)

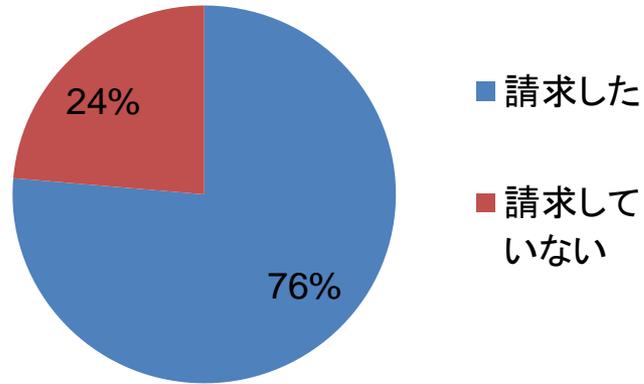
世帯主の収入

- 200万円未満
- 200万円以上400万円未満
- 400万円以上600万円未満
- 600万円以上800万円未満
- 800万円以上1000万円未満
- 分からない
- 無回答

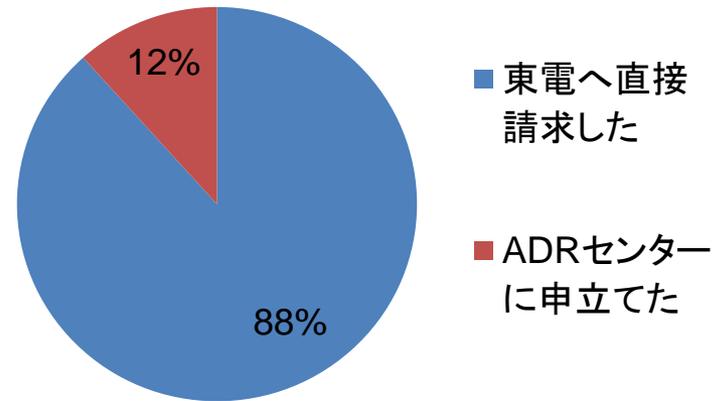


原子力損害賠償について

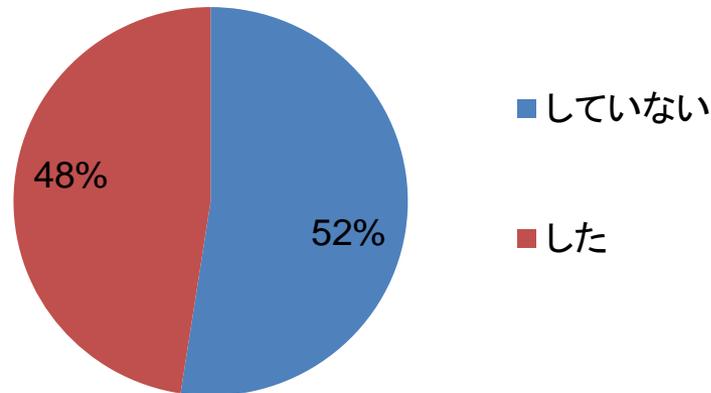
東電へ損害賠償請求を しましたか



損害賠償の請求方法

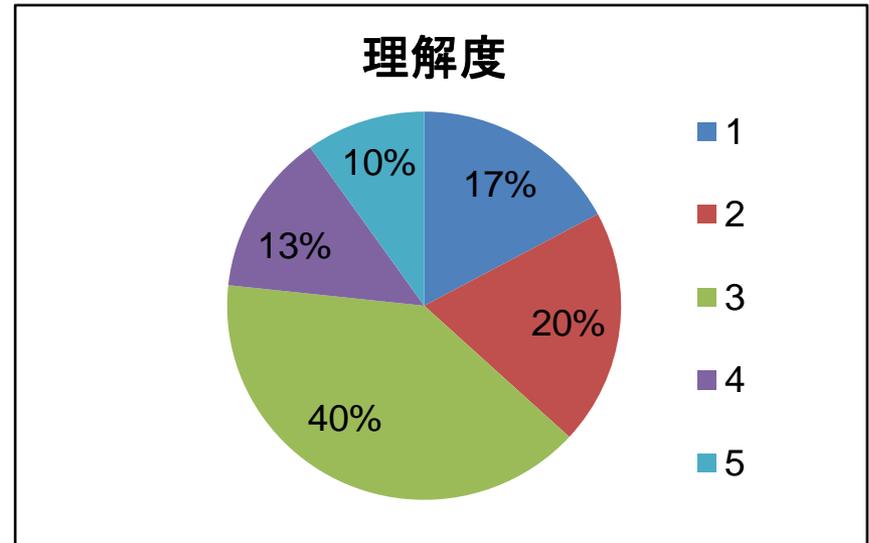


専門家への相談、説明会への参加

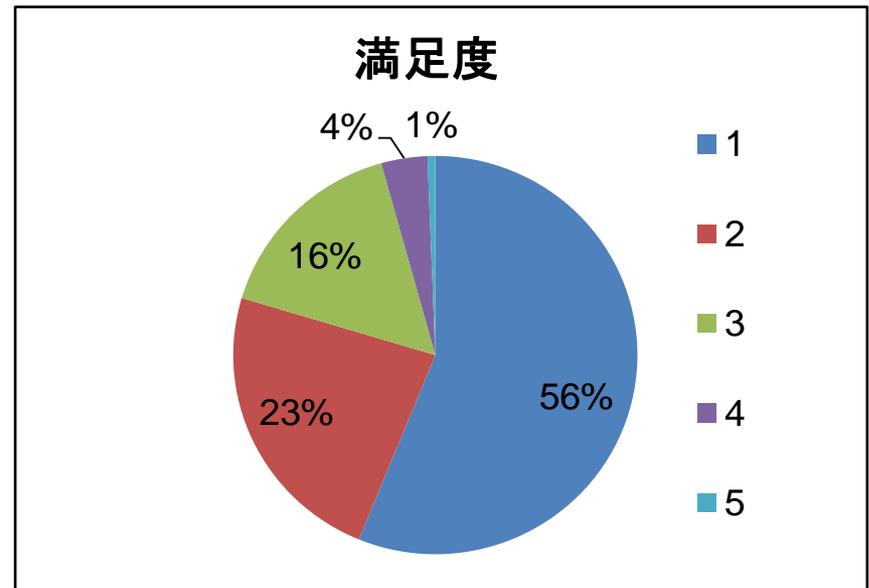


原子力損害賠償について

賠償請求の方法、賠償の対象(どのような損害が賠償されるか)の理解度
(理解度の高い順に54321で評価する。)

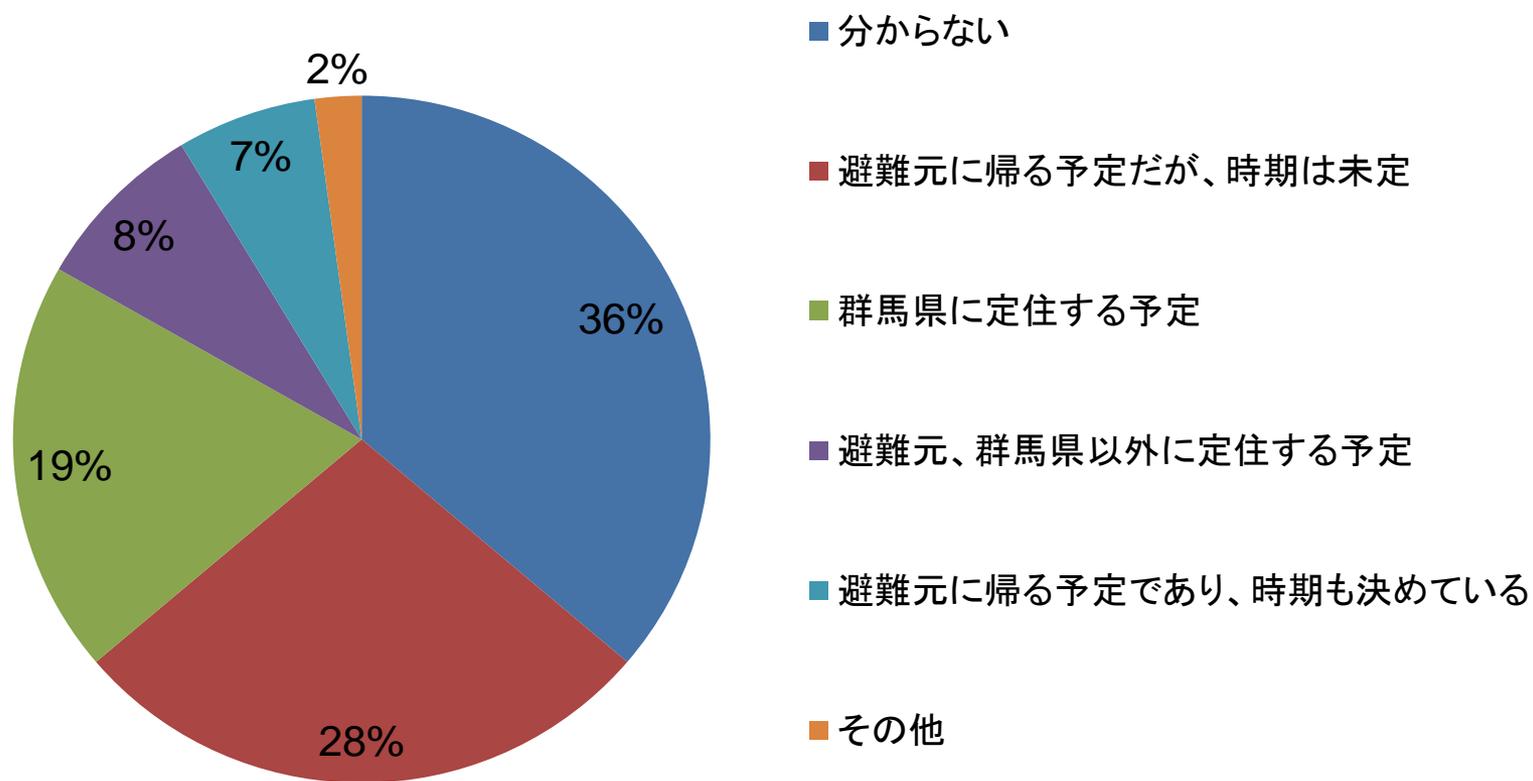


東電が提示している賠償の対象、金額の満足度
(満足度の高い順に54321で評価する。)



今後の生活について

今後の生活の予定



必要な支援について(全体)

(必要性が高い順に54321で評価する。)

		平均値
1	高速道路の無料化など、避難元と避難先を行き来するための交通費の助成	4.8
2	正社員での雇用の促進、資格取得のための職業訓練の受講を無料化するなどの就労支援	3.8
3	内部被ばく検査や甲状腺検査など、放射線の健康影響に関する検査の実施、健康相談の受付	4.3
4	現在住んでいる仮設住宅から別の仮設住宅へ転居を認める。	3.8
5	損害賠償に関する情報の提供、相談会の開催、請求手続の支援	4.1
6	避難元地域の除染や復興の進捗状況に関する情報の提供	4.1
7	避難先地域における子育てや子どもの教育に関する情報の提供	3.9
8	避難先地域における医療や福祉に関する情報の提供	4.3
9	自主避難者に対する支援	4.3
10	高齢者、要介護者、障害者などのいる避難者世帯への支援	4.5
11	周辺環境や食品の放射線量の詳細な測定、迅速な情報の公開	4.2
12	避難者交流会の開催、親子で参加できるイベントの開催	3.6

必要な支援について(未就学児童のいる世帯)

(必要性が高い順に54321で評価する。)

		平均値
1	高速道路の無料化など、避難元と避難先を行き来するための交通費の助成	5.0
2	正社員での雇用の促進、資格取得のための職業訓練の受講を無料化するなどの就労支援	4.4
3	内部被ばく検査や甲状腺検査など、放射線の健康影響に関する検査の実施、健康相談の受付	4.6
4	現在住んでいる仮設住宅から別の仮設住宅へ転居を認める。	3.9
5	損害賠償に関する情報の提供、相談会の開催、請求手続の支援	4.4
6	避難元地域の除染や復興の進捗状況に関する情報の提供	4.2
7	避難先地域における子育てや子どもの教育に関する情報の提供	4.5
8	避難先地域における医療や福祉に関する情報の提供	4.7
9	自主避難者に対する支援	4.6
10	高齢者、要介護者、障害者などのいる避難者世帯への支援	4.7
11	周辺環境や食品の放射線量の詳細な測定、迅速な情報の公開	4.5
24	避難者交流会の開催、親子で参加できるイベントの開催	3.8